

2016 年度事業計画

活動 4 年目を迎える本年度、質・量ともにより一層の発展をめざして、以下のおもな事業を実施と、自主財源とした運営事務を取り組んでいきます

1. 食品提供サービス事業

- ① 社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体等への食材提供サービス事業に取り組みます。
- ② 食の足りていない人たちの発見ならびに契約施設・団体の食品ニーズと提供食品をマッチングさせるための調査に取り組みます。
- ③ 各サテライト（拠点）を軸とした地域に根ざした活動を行うとともに、各地の生活困窮者支援団体・相談窓口を通じた個人への食品提供事業の拡大に取り組みます。
- ④ 生活困窮者自立相談窓口等につながらない、困窮者及び困窮世帯の子どもたちの発見（具体的に学校等と連携）し個別宅配の方法と仕組み作りに取り組みます。

2. 余剰食材回収サービス事業

- ① 食品関連業者等から余剰食材回収サービス事業に取り組みます。とくに個人への食品提供事業を進めるにあたり、ニーズにあった食品の確保につとめます
- ② 2015 年度に食品を提供していただいた企業(団体)等に対して 2015 年度事業報告書の送付をおこない、引き続いての協力依頼に取り組みます。
- ③ 個人支援向け食品回収事業として、フードドライブを実施します。具体的に社会福祉協議会への協力依頼、各種イベントへの参加をおこないます。
- ④ 各サテライトを軸とした地域事業所（大阪府本社）への協力を呼びかけ食品回収事業の拡大に努めます。

3. 会員とボランティア

- ① 会員の拡大に取り組みます。2015 年度の会員は、個人正会員 20 名、賛助会員 1 団体 1 個人でした。とくに 2016 年度は、正会員の拡大と合わせて、フードバンク活動に賛同する賛助会員の入会促進に積極的に取り組みます。
- ② ボランティア登録とボランティア活動への参加、拡大に取り組みます。
- ③ 「百聞は一見にしかず」、フードバンク活動は実際に参加することで社会貢献に携わっていることを実感できる活動です。ボランティアとして日常生活で接する機会の少ない施設・団体をまわり、そこで元気に働く職員・入所者の人たちと接し、

「ありがとう」の言葉と「元気」をいただいできます。そのように互いを支えあうことが体験できるボランティア体験デーを実施してきました。2016年度は、新たに「ふーどばんくデー」を実施します。具体的に昨年度より実施のボランティア体験デーに参加いただいた方や、食品寄贈元企業などへ参加を呼びかけ実施します。

4. 広報活動

- ① ホームページの充実をめざします。日常の活動報告とあわせフードバンクにかかわるさまざまな情報（環境問題や世界の食品ロス削減の取り組みなど）を発信し、活動への理解が深められるように努めます。
- ② 『ふーどばんく OSAKA 通信』の発行に取り組みます。ホームページの充実と合わせて、フードバンクにかかわるさまざまな情報を発信し、活動への理解が深められるように努めます。
- ③ フードバンクにかかわる研修の受け入れや講演活動に取り組みます。この活動は、あわせて自主財源獲得の手段の一つとして位置づけ進めます。
- ④ フェイスブックの活用の充実をめざします。日常の活動をできる限りリアルタイムに発信し、活動への理解が深められるように努めます。

5. その他

- ① 2016年度の事業展開に伴う人材確保として、事務局体制の充実をめざします。
- ② 他のフードバンク団体との連携強化をおこないます。おもなフードバンク団体で構成される「セカンドハーベスト・アライアンス正加盟団体」に向け衛生管理監査を受けます。
- ③ 各種助成金などの情報収集を行うとクラウドファンディングの活用など、自主財源確保のための事業展開を目指します。
- ④ 個別宅配等の運営資金獲得のため、大阪府に本社機能を持つ食品製造企業への資金・機能やノウハウ提供の協力要請を進めます。